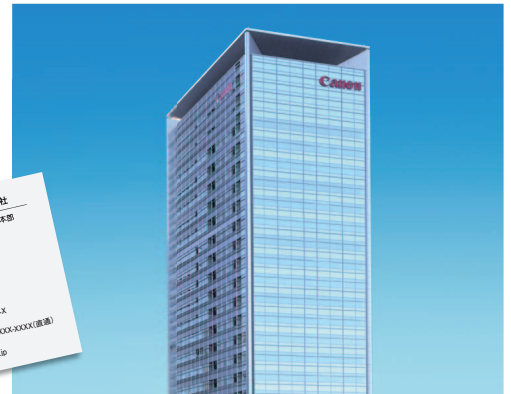




社員一人ひとりが自分で名刺を作成。 コスト削減と業務改善を同時に実現。



キヤノンマーケティングジャパン株式会社 [販売業]

キヤノン製品の国内販売をはじめソフトやサービスを付加したソリューションの提案などを行う。



担当者へ聞く カラーカードプリンターの導入効果

社内改革に コスト削減で貢献

経済性

「初めは『導入効果をPRできたらいい』ぐらいに思っていたのですが、今ではこのプリンターなしにわが社の名刺供給は考えられません」と笑って話すのは総務部の指原一征さん。キヤノンマーケティングジャパンが自社製品であるカラーカードプリンターを導入することになったきっかけは、社内改革の一環としてコスト削減が挙げられたからだ。そこで具体的な方法を探していたところ、名刺の作成コストを減らせるカラーカードプリンターに白羽の矢が立ったという。「以前まで約1,380万円も



かかった名刺の作成コストが約240万円までダウンしたんです。コストパフォーマンスの高さを実感したという

感じですね」。一部の部署でなく全社で導入にふみきただけに、削減できたコストもかなりの額になったようだ。

社員の作成で 供給時間を最短に

スピード

キヤノンマーケティングジャパンでは、各拠点にカラーカードプリンターを設置し、社員一人ひとりが必要に応じて名刺を作成している。「今では『名刺が欲しいな』と思ったら、プリント時間を含めてもわずか数分で手に入れることができます。以前のように納品まで約1週間かかっていたのがウソみたい。また管理部門は、消耗品の管理と機械のメンテナンスだけすればよく、業務改善にも繋がりました」と指原さん。しかし社員はこのセルフサービスのような名刺供給システム



を受け入れられたのだろうか。「うっかり名刺を切らしてしまうと最低1週間は仕事に影響がでるわけですから、オンデマンドでプリントできるというのは大きな魅力です。今ではプリントするのが当たり前とってくれているようです。『名刺はオフィスでつくるもの』という認識がムリなく社員に浸透したようだ。

名刺の破棄は 資源のムダづかい

省資源

オンデマンドでプリントできるということは、言い換えると“使わない名刺はつくらなくてもいい”ということでもある。「外注の場合、100枚単位でしか発注できません。でも使用頻度は社員によって異なりますから、使い切る前に部署を異動すると名刺を大量に破棄しなければいけなかったんです」と指原さん。社内プリントになってからは名刺を大量に保管しておく必要がなくなったため、使えない名刺の発生もグッと抑えることができるようになった。「紙やインクは作成コストにも影響してきますし、資源の有効活用は企業全体で取り組まなければならない問題です。このプリンターはそんな問題を一気に解決してくれました」と指原さんは語った。カラーカードプリンターの導入が一石二鳥以上の効果をもたらしてくれたようだ。

カラーカードプリンターでこれだけコスト削減できました。

作成コストだけを比較しても年間約1,100万円のコスト削減に成功。またキヤノンマーケティングジャパンの場合、社員一人ひとりが自分でプリントしているため人件費がかからないというメリットもある。最低限の時間とコストで効率的に名刺を供給できるようになった。

●年間の名刺作成コスト比較

プリンター導入前の作成コスト **約13,800,000円***

社内プリントの場合 **約2,400,000円***

*年間約120万枚プリントしたときの作成コスト。